

学生、教職員のみなさんへ。

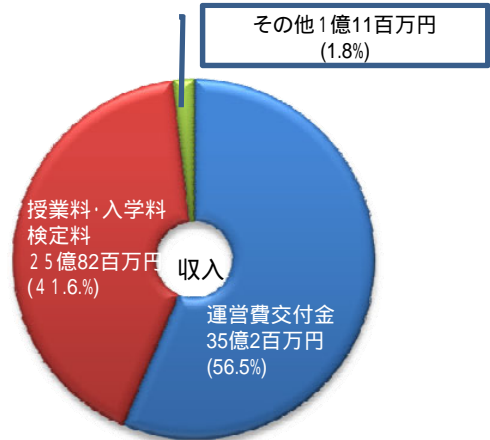
平成22年9月28日
福島大学学長 入野 修

福島大学の収入の半分以上は国からの運営費交付金です。

福島大学の収入の5割以上は、国から支出されている運営費交付金です。

このことから、皆さんの勉学、研究のために多くの貴重な国の税金が投入されていることを日頃から自覚することが重要です。

その上で、日頃から教育研究活動に励み、将来の日本を背負って立つ優れた人材として、活躍することが期待されています。



平成22年度収入予算 61億9500万円

外部資金(受託研究、寄附金収入、科学研究費補助金等)は含まれていない

しかし、来年度の運営費交付金は5%削減される見込みです。是非、内閣官房、パブリックコメント(意見募集)へご意見をお寄せください。(～10月19日締切り)

国の一般歳出は平成22年度予算で約5.3兆円です。政府は中期財政フレームにおいて、この歳出の大枠は3年間前年度を上回らないとしております。約5.3兆円のうち、社会保障費が現在2.7兆円です。残り2.6兆円が文教科学費、防衛費、公共事業費、その他・・・となります。これが3年間変わらないわけですが、唯一変わるものがあります。それは社会保障費自然増1.3兆円です。これについては、増額を認めるとしてあります。となりますと、他の文教予算、防衛費、公共事業費等を減額しなければなりません。2.6兆円ある内、1.3兆円が社会保障費に措置するということはちょうど5%減になるということです。そこで、政府は単に5%減にするのではなく、まずは一律10%削減し、それを財源に「元気な日本復活特別枠」を設けました。ここに各省庁からの要望を提出させ、パブリックコメント(国民からの声)を求め、これを参考に政策コンテストを実施し配分することにしました。

文部科学省においても全体で10%削減をしました。ただ、国立大学運営費交付金については5%減にとどめています。

国立大学関連からは、**授業料免除に係る予算、無利子奨学金、教育研究基盤強化(プロジェクト研究費、設備整備費)、科学研究費補助金(若手) 施設整備費に関する予算が一度削減され、**「元気な日本復活特別枠」に制度を拡充した上での要求となりました。

そこで皆さんお考えください。

「元気な日本復活特別枠」は各省庁からの要望によるコンテスト枠です。各省庁からの要望総額は2兆9,445億円で配分額は1兆数億円と言われております。もし、**この特別枠で国立大学関連の要望が認められなかった場合、**授業料免除を実施するための財源が国から措置されなくなります。プロジェクト研究、設備整備費の予算が措置されなくなります(その他科研費の減など)。つまり、運営費交付金は5%削減されて例年措置されていた授業料免除等が措置されない状況になります。となると、**来年度授業料免除は実施できません。学内で実施しているプロジェクト研究は頓挫してしまいます。**国から措置されない状況となっても、できる限りの授業料免除、最低限のプロジェクト研究費を確保したいと考えますが、それを措置した場合、他の教育研究活動へしわ寄せが及びます。ですから、この問題は、**授業料免除を受ける学生の方々、プロジェクト研究を実施している教員、大学院生の方々だけの問題ではありません。**

本日から、「元気な日本特別枠」へのパブリックコメント受付が内閣官房のホームページで実施されます。**国立大学についての国民の関心は、義務教育や公共事業、防衛関連に比べ残念ながら低いと言わざるを得ません。**国民の関心の高いものが査定の対象となることが考えられます。私も大学の責任者としてパブリックコメントに意見を載せる所存です。是非、みなさんも率直なご意見をパブリックコメントにお届け願えれば幸いです。

なお、パブリックコメントホームページへは福島大学ホームページからリンクされるよう近日中対応いたします。